

## S-1は活断層!! 志賀原発は即刻廃炉に!

### 渡辺満久東洋大学教授（変動地形学）講演会を開催



講演する渡辺満久教授

8月31日、午後6時15分より金沢の県地場産業センターで開催された講演会(主催:「志賀原発直下に活断層!」講演会実行委員会)で、断層の専門家である渡辺教授は、志賀原発1号機直下のS-1断層が間違いなく活断層であり、「そもそもこの上に原発を建設することなどあり得ない」と言い切りました。講演会はパワーポイントを駆使し、断層のスケッチや志賀原発周辺の地形図・写真をふんだんに取り入れたとても解り

やすくかつ明快な内容で、1号機建設時の審査がいかにかズサンであったか、はじめから建設を前提にして活断層を意図的に隠してきた疑いが極めて高いことが明らかにされました。

また志賀原発のすぐ北にある **富来川南岸断層が主断層** であり、S-1断層は副断層であること、S-1をふさぐ形になっているS-6も活断層である疑いが強いことにも触れられました。

保安院が指示し、北電が現在行っている再調査に関して渡辺教授は「北電が国に提出した地層のスケッチは石の流れや向きも表現されており、非常によくできている。このスケッチで判断すべきなのに、なぜ再調査するのかわからな



250人以上の参加者で埋まった会場

い。北陸電力は40mもの深い箇所を掘って調査するというが、何も出てこない可能性が大きい。**活断層でないことを証明するための『再調査』**と言わざるを得ない」と述べました。

**サポーターの拡大を!!** 現在、サポーター登録は目標の6割ほどです。10月3日

には第1回の口頭弁論が開かれます。さらなるサポーターの拡大で、志賀原発を廃炉に追い込みましょう!